

報道関係者各位

2020年2月3日

2019年度「テレワーク川柳」の審査結果の発表について

https://japan-telework.or.jp/news/19th_teleworksenryu_results/一般社団法人日本テレワーク協会
ライフコース多様化とテレワーク部会

一般社団法人日本テレワーク協会（会長：加藤薫、所在地：東京都千代田区、以下日本テレワーク協会）の「ライフコース多様化とテレワーク部会」*1では、「テレワーク」について、会社のみならず家庭や社会においてもその理解を深め、より一層身近な働き方として普及促進していくために、2019年のテレワーク月間（11月）に、「テレワーク川柳」を公募しました。

全国の13歳から84歳までの幅広い年齢層の方々から767作品の応募があり、テレワーク川柳審査委員会（審査委員長：佐藤百合子（日本テレワーク協会アドバイザー））において、グランプリ賞1作品、準グランプリ賞1作品、入賞10作品、佳作88作品の100作品を選定しましたので発表致します。

選定結果は「社会」「多様な働き方」「上司部下」「働き方（仕事）」「働き方（職場）」「コミュニケーション」「育児・介護」「家庭」に分類し、イラストと解説を加えた小冊子を作成致しました。

「テレワーク川柳」及びその小冊子については、テレワークの普及促進のツールとして幅広く活用してまいります。

(1) グランプリ賞

□ モバイルの やり方わからず 出勤し ピエ助



(2) 準グランプリ賞

□ 茶の間から 出した指令に 社が動く 澄海



(3) 入賞

【社会】

- | | |
|---|-----------|
| <input type="checkbox"/> 混雑の 緩和も立派な 「お・も・て・な・し」 | テレワーク・デイズ |
| <input type="checkbox"/> テレワーク 計画運休 はいどうぞ | まこっちゃん |
| <input type="checkbox"/> 『会社来い』 ハラスメントの 時代かも | ぴかちゅー |
| <input type="checkbox"/> なんのため 出勤するのか 問われてる | チェミ |



【多様な働き方】

- | | |
|--|--------|
| <input type="checkbox"/> 定年を ぐぐっと伸ばす テレワーク | ゴディバヤシ |
|--|--------|

【働き方（仕事）】

- | | |
|---|-----|
| <input type="checkbox"/> 在宅を する前不安 やってファン | つべる |
|---|-----|

【働き方（職場）】

- | | |
|---|--------------|
| <input type="checkbox"/> ふるさとと 絆深める ワークーション | 波乗りオフィスへようこそ |
| <input type="checkbox"/> 虫の声 川の音ある テレ会議 | かきくけ子 |



【育児・介護】

- | | |
|---|-------|
| <input type="checkbox"/> 父見舞う 病院からでも ONE TEAM | ゆきだるま |
|---|-------|

【家庭】

- | | |
|--|-----|
| <input type="checkbox"/> 参観日 隣のママも テレワーク | ハルル |
|--|-----|



(3) 佳作（協会ホームページ参照）

(4) 「テレワーク川柳」小冊子



小冊子をご希望の方は、以下のメールアドレスまでご連絡願います。

(5) 著作権

入賞・佳作作品を含めた「テレワーク川柳」応募作品及びイラストの著作権は、一般社団法人日本テレワーク協会に帰属致します。

【本件お問い合わせ先】

一般社団法人 日本テレワーク協会
ライフコース多様化とテレワーク部会 荒木・諸橋
TEL 03-5577-4572
e-mail telework-senryu@japan-telework.or.jp
URL <http://www.japan-telework.or.jp>

*1 「ライフコース多様化とテレワーク部会」

日本テレワーク協会が設置している5つの部会（2019年度）の一つ。

- ・ 部会長：北村有紀氏（株式会社NTT データ）
- ・ アドバイザー：佐藤百合子氏（一般社団法人国際女性教育振興会）
- ・ 部会員：37名（2020年1月31日現在）

本部会では、育児や介護、転勤といった人々の多様なライフコースにおけるテレワークの有効性を主眼に、テレワークの普及や導入促進の為には何をすべきか、テレワーク促進のための課題、成功要因等を、ケースを含め調査・研究している。

古い考えに固執してテレワークを理解することが難しい企業の管理職、社会、近隣、家族の人々の間にある、働き方改革の阻害要因である「粘土層」を意識して行った調査・研究・提言は大きなインパクトを与えた。2018年度には「岩盤層」という概念を新たに世に出し、「テレワークの推進と理解促ためテレワークの9つの提言」を発表。

一般社団法人 日本テレワーク協会概要

■名 称

一般社団法人日本テレワーク協会
(Japan Telework Association)

■代表者

会長 加藤 薫

■所在地

〒101-0062

東京都千代田区神田駿河台 1-8-11 東京 YWCA 会館 3 階

TEL : 03-5577-4572 FAX : 03-5577-4582

URL : <https://japan-telework.or.jp/>

■協会理念

I C T (情報通信技術) を活用した場所や時間にとらわれない柔軟な働き方であるテレワークを、広く社会に普及・啓発することにより個人に活力とゆとりをもたらし、企業・地域が活性化できる調和のとれた日本社会の持続的な発展に寄与する。

■事業内容

- ①政府の普及・啓発施策への協力、政策提言
- ②テレワークに関するコンサルティング
- ③テレワークに関する調査・研究
- ④先進企業等への「テレワーク推進賞」表彰事業
- ⑤テレワークに関する出版
- ⑥テレワーク関連シンポジウム・セミナーの実施 等

■会員数

318 企業・団体 (2019 年 10 月 17 日現在)

■関係省庁

総務省、厚生労働省、経済産業省、国土交通省

■沿 革

1993 年 (平成 5 年) 6 月 社団法人日本サテライトオフィス協会発足

2000 年 (平成 12 年) 1 月 社団法人日本テレワーク協会に名称変更

2013 年 (平成 25 年) 4 月 一般社団法人日本テレワーク協会に移行